

みんなで「未来」をどうつくる？

—実験室での生殖細胞研究の ELSI を考える—



この十数年の間に、iPS細胞などの幹細胞から精子や卵子といった生殖細胞を作成する研究（IVG研究）は大きく進展してきました。それに取り組む研究者たちは、生殖細胞という次世代を作る細胞ができる仕組みの理解を通して生命の不思議に迫ろうとしています。近い将来、ヒトのiPS細胞からの作成もできるようになるかもしれません。だからこそ、いま、「いのち」について、あらためて考えるべき時がきています。

本プロジェクトでは、IVG研究のいまと未来について、多様な関係者とともにそのELSI（倫理的・法的・社会的課題）や進め方を考えることを目的としています。今回のシンポジウムでは、IVGの研究者や医療の専門家を交えて、みなさまと一緒に議論を深めたいと思います。

2024.3.11 ① 14:00-17:00

場所 秋葉原 UDX 4階 UDX GALLERY NEXT1（ライブ配信あり）

参加登録 <https://x.gd/vkPdI>

お問合せ 大阪大学 大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学 email g-step@eth.med.osaka-u.ac.jp

主催 JST 社会技術研究開発事業「患者市民参画に基づくヒト幹細胞由来の生殖細胞研究のELSI 対応とガバナンス<G-STEPプロジェクト>」(代表:加藤和人)



参加無料
(事前申込制)



G-STEP
project

RInCA
Responsible Innovation with
Conscience and Agility

みんなで「未来」をどうつくる? -実験室での生殖細胞研究の ELSI を考える-

プログラム

14:00 開会

14:05 ご挨拶 唐沢 かおり RinCA 総括、東京大学 大学院人文社会系研究科

14:10 プロジェクトの紹介 加藤 和人 大阪大学 大学院医学系研究科

14:25 講演「IVG 研究の現状」林 克彦 大阪大学 大学院医学系研究科

14:45 講演「組織からの精子誘導研究」小川 毅彦 横浜市立大学 医学研究科

15:05 休憩

15:20 プロジェクトの取り組みについて

「市民パネルの設立に向けて」古結 敦士 大阪大学 大学院医学系研究科

「IVG 研究の ELSI の整理」鹿野 祐介 大阪大学 CO デザインセンター

山下 大輔 大阪大学 大学院医学系研究科

「生殖補助医療の規制整備に関する議論の整理」村岡 悠子 大阪大学 大学院医学系研究科

15:55 パネルディスカッション

指定発言「生命倫理についての公的プラットフォームを含む

日本産科婦人科学会の取り組みについて」木村 正 大阪大学 大学院医学系研究科

パネリスト 加藤 和人、林 克彦、小川 毅彦、木村 正、荻原 稔、村岡 悠子

16:55 閉会の挨拶 加藤 和人

日時

2024.3.11 月 14:00-17:00



パネリスト



加藤 和人

(かとう・かずひと)
大阪大学
大学院医学系研究科

林 克彦

(はやし・かつひこ)
大阪大学
大学院医学系研究科

小川 毅彦

(おがわ・たけひこ)
横浜市立大学
医学研究科

木村 正

(きむら・ただし)
大阪大学
大学院医学系研究科

荻原 稔

(いらはら・みのる)
徳島大学
大学院歯医学研究部

村岡 悠子

(むらおか・ゆうこ)
大阪大学
大学院医学系研究科

場所

秋葉原 UDX 4 階 UDX GALLERY NEXT1
(ライブ配信あり)

定員

会場参加 180 名、オンライン配信 500 名

参加登録

下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

登録されるメールアドレスに事務局 (g-step@eth.med.osaka-u.ac.jp) から差し上げる連絡が届くよう、あらかじめ迷惑メールの設定等ご確認ください。

<https://x.gd/vkPdI>参加無料
(事前申込制)

お問合せ

大阪大学 大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学

email: g-step@eth.med.osaka-u.ac.jp

アクセス MAP

秋葉原 UDX 〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1

